日刊 動労千葉
87. 5. 18
No. 2552
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉砕！

清算事業団の仲間の原職復帰かちとれ

移行一ケ月余りで噴き出した 分割・民営化のデタラメと破綻性

五月十五日、本州三社・四国・貨物の五社は、北海道・九州両地区の清算事業団職員を対象に、合わせて一三五四〇人を追加募集すると発表し、動労総連合に提案した。これは定員を一万人も下回って採用したうえに、新会社の劣悪な労働条件により採用辞退者が続出したことによるものであり、労働者の生活権を無視した、単に会社の人数だけを合わせようとする会社当局のデタラメさを許すことはできない。当局は不当にも清算事業団に送りこんだ十二名の動労千葉組合員を直ちに採用せよ。

全国で一万五千人の「追加募集」

「追加募集」の提案は、東日本七千人東海三千八百人、西日本千八百人、四国四四〇人、貨物五百人としたうえで、募集対象を北海道、九州両地区に勤務する清算事業団職員であって「再就職を必要とする者として指定した職員」とし、さらに「採用基準」を「会社の業務にふさわしい者で、指定する業務に就く意思のある者」とし、五月十八日から六月十五日まで募集を行い、八月一日採用としている。

北海道・九州合わせても五千八百人

分割・民営化移行に際し、当局は国労や動労千葉組合員を選別排除し、定員を約一万人も下回って採用した。

しかし、労働条件の劣悪化や当局の差別的労務政策に反発し、大量の採用辞退者が続出したうえに、運輸省から定員に満たない分の人件費を事業団に返すことを要求され、旅客四社と貨物会社合わせて約一万三千人の追加募集を行ってきたのだ。

今回の提案で、理不尽極まりないことは募集対象の北海道・九州両清算事業団職員合わせても約五千八百人しかおらず、本州各地の清算事業団職員を除外していることである。断じて許すことはできない。

分割・民営化のデタラメ性と破綻性

また、動労千葉や国労を排除するための差別・選別攻撃で生じた「欠員」を、移行一カ月余りで補わざるを得ないという、この現実こそ「分割・民営化」のデタラメと破綻性を示すものである。

われわれは、この当局自らがつくり出した矛盾をさらにひきずり出し、清算事業団の十二名の仲間の「原職復帰」を、北海道・九州で闘う清算事業団の仲間と連帯してかならずや実現しようではないか。

1万3000人追加募集

JR5社 採用もれ尾引きそう

（5/16朝日）

旧国鉄の7社グループ各社のうち、職員の採用数が定員を下回っている本州三社、四国、貨物の五社は十五日、北海道、九州両地区の国鉄清算事業団職員を対象に、十八日から社員の追加募集をする、と発表した。

募集の人数は東日本の約七千人をはじめ、いずれもほぼ定員割れに見合う数で、合わせて一万三千五百四十人。これに対し、同事業団に残る両地区の就職未定者は約五千八百人。募集人数の五倍は、定員に満たない分の人件費を事業団に返すよう運輸省から指示を受けたこともあり、追加募集に踏み切ったが、この広域募集に応じる人は少ないとみられ、両地区の採用もれ職員をめぐる雇用問題はなお尾を引きそうだ。

東日本以外の募集数は、東海が約三千八百人、西日本約千八百人、四国約四百四十人、貨物約五百人。

人数を絞る募集要項は各社、いずれも同じで、一国鉄、事業団在職中の勤務状況からみて、当社の業務にふさわしい者、二当社の所定地域で、所定業務に就く意思のある者、などを採用基準側の五倍に達するよう運輸省から指示を受けている。十八日から六月十五日まで受付け、八月一日に採用、としている。

この追加募集について国労（六本木敏委員長）は、雇用を確保する意味から募集そのものに異議はない、としている。しかし、具体的な仕事の内容や勤務の種類、子どもの転校などの問題点も少なくないため、団は交渉で募集の内容や方法を詰めたい、という。また、民営化後、九月分の追加募集をさきに、西日本の労働条件、労務政策、人間関係に対する不満などのため、採用辞退者が多かったことなどから、二番目、三番目の採用、となるか。

（5/16朝日）